



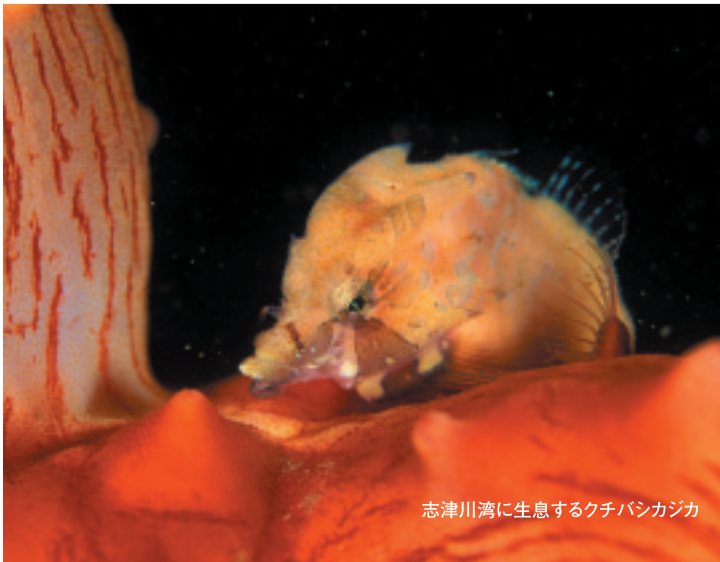
椿島(左)と竹島(右)



荒島とサンオーレそではま



南三陸温泉



志津川湾に生息するクチバンカジカ

万物の生命が循環する町

山と海に囲まれ、自然に恵まれた南三陸町は、理想的な生態系を有する環境にあります。標高3百〜5百mの峰々を源とする幾筋もの清流は、田園地帯を潤しながら、町の養殖漁業を支える湾へと注がれます。懐の深い湾は、流入した生活排水の有効成分を餌にしてカキやホタテ・ホヤの生命を育み、その力キやホタテは海水を浄化する役目を果たしています。南三陸の海の豊かさは、山・川・海と町民の営みが調和し、町全体がひとつの生態系として理想的に循環していることの証明です。そして「人も自然の一部」であることを実証しています。

椿島や竹島など湾内に点在する島々には、タブノキ原生林やモチノキなど暖地性植物北限種が群生し、イワウチワやヒメコマツなども自生することから、温帯から亜高山帯にかけての植物分布の見本とも言われています。町内では200種を越える鳥が確認されており、日本固有のセグロセキレイやイソヒヨドリ、カワセミなどの野鳥を一年中、目にすることができます。また絶滅危惧種としてレッドデータブックにも記載されている国の天然記念物、イヌワシ

今なお残る日本の原風景

町の北西にそびえる田束山をはじめ、神行堂山、貞任山、童子山、保呂羽山など、

「日本の原風景」として訪れる人の郷愁を誘います。里山を縫うように流れる川のせせらぎやかやぶき屋根、水車小屋など、いにしへの趣きを今に伝える風景が町の豊かさを象徴的に物語っています。

地域を活かし、人を生かす

豊かな自然に恵まれた南三陸町は、グリーンツーリズムやブルーツーリズムが盛んな体験観光の町として近年、ますます注目を集めています。廃校になった小学校の木造校舎を改装して作られた「校舎の宿：さん

さん館」では、地元の町民が先生となり、

農林業体験や漁獲体験など一年を通して100種にものぼる体験メニューを実施。地域全体で体験者を受け入れる体験学習の拠点として、また新たな都市・農漁村交流の場としても大きな話題を集めています。そうした取り組みの中から、農家で寝食を共にする民泊や例年行事として参加する学校が年々増えるなど、新しい交流の形も生まれてきています。こうした動きは、「南三陸町自然環境活用センター」や「宮城県志津川自然の家」をはじめ、町内のホテル・民宿などの宿泊施設においても、多種多様

な形で行われています。

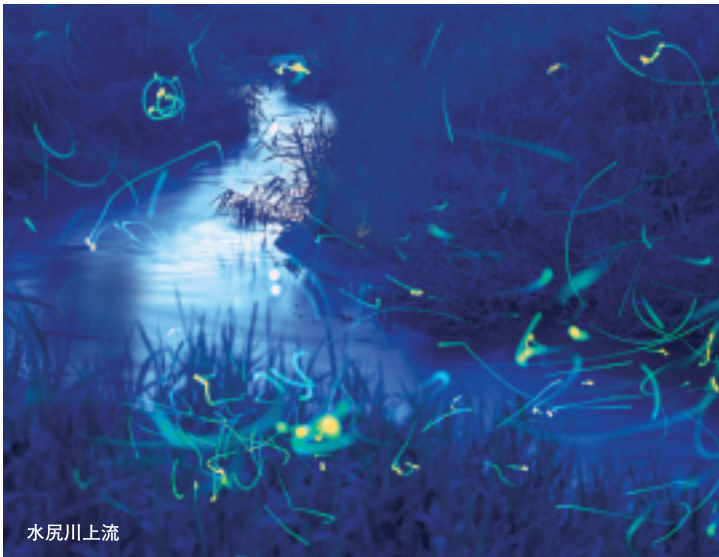
町の美しく豊かな自然を舞台に、先人から伝えられた営みや風習、伝統の技などの地域資源を活かし、訪れた人と共に喜びを分かち合うことができる交流体験の場は、年々広がりを見せ、地元住民にも新しい自信や喜び、活気をもたらし、町の活性化と産業振興の大きな原動力にもなっています。これまでの夏季型観光地から周年型の滞在・体験型観光地へと変化しつつある中で、南三陸町は、県内有数の体験観光拠点としてのまちづくり・人づくりを進めています。

ALIVE南三陸

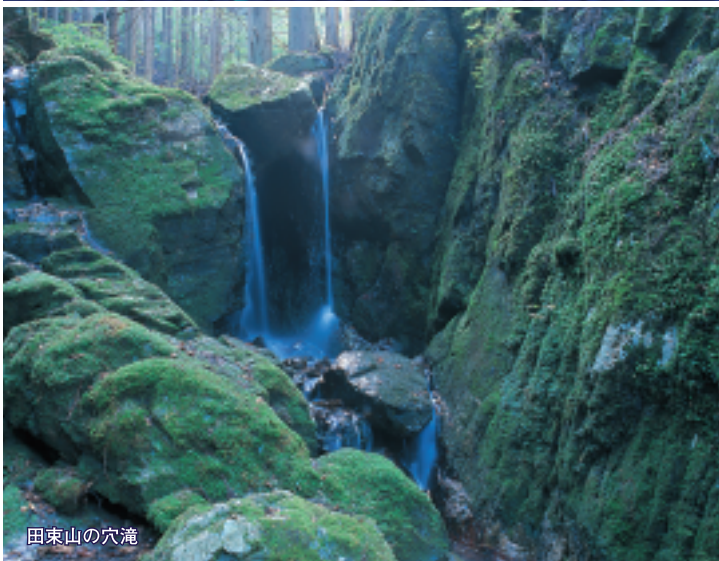
Minamisanriku Town has attractive vistas of sea, rivers, forests, and mountains. Visitors are touched by its “Very Japanese landscape”. This is the home of golden eagles, which are a national natural treasure, lighting bugs, and others. The town has recently gained attention as a town of green and blue tourism because of its affluent nature. We are proceeding to improve the town and develop a community by preserving its rich environment and producing exchanges between people.



さんさん館



水尻川上流



田束山の穴滝



入谷地区の水田